

地域おこし協力隊の嶋隊員が退任へ

地域おこし協力隊で、SDGs推進活動支援員として活動していました、嶋裕香です。8月末で3年間の任期を終えることができました。町が「行きたいまちへ、生きたいまちへ。」をスローガンとする「弟子屈町観光振興計画」の推進支援を主な任務とし、特に「生きたいまち」とするためには何が必要なのかを考えながら活動してきました。

協力隊をやってみようと思ったきっかけも、これからの暮らしについて考えた時に、自分が暮らす身近な社会に対してあまりにも受け身であると感じ、自分自身でできることを探し始めたことでした。私はもともと引込み思案な性格ですが、自分で考え、行動を起こしていかなければならない協力隊活動に挑戦しようと思ったのも、自分でできることを探し、見出したい、という目的があったからです。この3年間で多少不得意なことでも前向きに取り組むことができるようになったと思います。

特に活動を通して得られた大きなことが二つあります。一つは、何か動き出そうとするとときに人との関わり合いが推進力を生み出すという学びです。もう一つは、身の丈でいいということの再認識です。自分一人ではおぼろげなアイデア止まりだったことも、人と共有することで、お互いの共通項が思いのほか多いことに気づけたり、あっという間に実現にこぎ着けたり、より発展性が生まれやすくなることを体験を通して学ぶことができました。『ひきだし部』での活動もまさにこのひとつです。またSDGsアドバイザーとして1年8か月ほど支援していただいた奈須憲一郎さんにも本当にお世話になりました。協力隊活動や協力隊であるという意識を持ちながら過ごした時間の中で、誰かが絶対的な答えを持っているわけでも寄りかからせてもらうわけでもなく、自分なりの歩き方を見出すヒントをたくさん得ることができたと感じています。

何事も「完成したもの」がないと土俵に上がれないと思いついていましたし、失敗を恐れがちでしたが、この3年間を通して「やってみなければ失敗も後悔もできないからやってみよう、背中を押してくれる仲間もいるし、一人でやらなくてもいいんだ！」と思えるようになったことが、何よりの財産です。

協力隊としての活動は一旦終了しますが、自分の暮らし方の追究は終わることはありません。一住民として「生きたいまち」を実現するために、地域社会との接点を見つけながら、今の自分にできることに挑戦しつつ、納得のいく暮らし方を創り上げていこうと思います。

3年間お力添えや応援をいただき、本当にありがとうございました。



嶋 裕香

奈須 憲一郎 eggplant代表

弟子屈町SDGsアドバイザー・北海道SDGs推進人材バンク講師
下川町在住で、持続可能な発展のためのルールを研究・普及する研究所を設立するなど、SDGsの取り組みを実践

地域の役に立ちたい 社会貢献いろいろ



美羅尾ヶ丘自治会の皆さんが7月6日から12日にかけて、会館の外壁塗装を行いました。美羅尾ヶ丘会館は、経年劣化により外壁の塗装が剥がれてきており、自治会の創立50周年に合わせ、社会貢献活動の一環として行ったものです。自治会員5人が参加し、利用される方が気持ちよく利用できるようにと外壁の洗浄、剥離、塗装まで丁寧に作業を行いました。

釧根電気工事業協同組合川上支部(宮田欽朗支部長)の皆さんが7月17日、子ども支援センターの屋外電灯の設置を行いました。幼児、児童などが安全に施設を利用できるようにと行われたもので、組合員である株式会社電機(宮田欽朗代表取締役)、株式会社電業(近江屋良子代表取締役)、衛エムケー電工(松田明史代表取締役)の皆さんが手際よく作業を行いました

弟子屈高校のいまが分かる! 弟高ニュース

「地学協働コーディネーターが着任しました」

vol.1

我がまち唯一の高校で、町内にも卒業生が多くいる弟子屈高校。現在は全校生徒が62人。1学年1クラスの小規模な学校ですが、先生をはじめ、生徒や地域の皆さんと手を組んで、少人数であることを活かしてさまざまな取り組みが行われています。

近くにありながらも、なかなか取り組みが知られていない現状もあるのではないかと思います。今月号より弟子屈高校の話題をお伝えします。

今年度から、北海道の「MA+CHプロジェクト」において、管内では弟子屈高校のみが指定を受け、地域と学校を繋ぐ使命を受け、地学協働コーディネーターとして着任しました。

Youtubeで紹介されています!



はぎわら ひろふ
萩原 寛暢
担当:地域と学校との連携、協働体制の構築



かわかみ りょうすけ
川上 椋輔
担当:全国募集に向けた高校魅力化・情報発信

町民の皆さんと弟高生の交流が深まり、まちの活性化がより進んでいくことを願いつつ、私たちコーディネーターが中心となって、学校のトピックスをお伝えしてまいります!

弟子屈高校ホームページでも、日々のさまざまな更新されていますので、ぜひご覧になってみてください。

地学協働コーディネーター
萩原 寛暢



弟子屈高校HP



▲初めての地域活動は川湯でのDIY参加からでした



▲SDGs講習会を実施しました。初めての登壇にもすごく緊張しました。



▲卒業目前の弟子屈中学校3年生向けにSDGs授業をさせていただきました



▲町の教職員向け研修を実施させていただきました。先生方が楽しそうにされていたのが印象的です。



▲川湯、市街地を舞台にモニターツアーを実施しました。写真はアトサヌプリの噴気を利用した実験時のものです。



▲「2杯目」開催時の会場の様子。特に型も決めず、その都度寄せ集めて会場準備をしていたのがとても楽しかったです。